

“パゴダの国ミャンマー”を福祉旅行

盲学校・孤児院・僧院無料小学校などを訪問

国9 - 国 北山 秀俊

研修旅行から福祉旅行へ

カレッジは開校以来ミャンマーが講義の対象に入っていなかった。2002年から3年間講義があり、THIN AYE AYE KO 女史(神戸大学・大学院卒文学博士)の講義を受けることができた。

2004年10月グループ学習、テーマ「もっと知りたい“パゴダの国ミャンマー”」で6名が研修旅行。

2006年2月に第2次研修旅行を、国際9期を中心に10期1名が加わり12名で、福祉活動を兼ねた研修旅行を行った。2007年2月19~28日の間、今回は竹内国際部長・北山・柴田部会員たち5名で福祉旅行を行った。

バゴーで孤児院と無料学校を訪問

バゴーはヤンゴン北東70kmの位置にあり13~16世紀にモン族の王都として栄えた。994年に建立された寢釈迦様で有名な古都です。タウンチャン孤児院には41名の孤児たちが入所している、政府からの支援は1人1日120k(チャット・1円=約10k)国内外から寄せられた寄付金の内から毎日15,000kを支出して運営され、1978年以降40組の養子縁組があったと、キンマー工校長先生が話された。

チェニガン寺院の無料小学校で小中生徒503人(内中学生113人)が学んでいるという。教材は政府と同じものを使用して、教材のほかに仏陀の教えを説いている。教材は学校関係者から寄贈、そして内外からの寄付金で運営され、政府からの援助はない。

この街にも小中学校はある。しかし貧困や親のいない子どもたちが、ここで学び卒業すれば、同等の卒業資格を得られると寺院学校長の僧侶が言われた。ミャンマーには義務教育制度はないが、識字率が90%を超えていると言う。これは各地の僧院が学校の役割を担っているからだと思う。

ヤンゴンとピンウーリンで盲学校訪問

今回も両盲学校を訪問し英語点字書と盲学校から希望のあった点字打器と点字用紙を寄贈した。ヤンゴン



人懐っこい孤児院の子どもたち

の盲学校では授業風景を参観した。日本のボランティアから日本式マッサージの指導を受け、市民の来客を得て収入を上げていると言われた。

この日はオーストラリアの眼科医師団が来校して全児童を対象にボランティア検診をしていた。校長から学校始まって初めての検診だと説明があった。ピンウーリン盲学校は校長と事務長が出張中だったので、女性の先生が対応された。これまでの寄贈した英語点字書が書棚に並べられていた。点字書をどのように利用しているかとの問いに、毎週順番に利用しているとのことだった。



写真の生徒が今回寄贈した英語点字書を開き朗読を始めた。綺麗な発音だった。3ページほど読み、にっこりと笑顔を見せた。

盲学校内を見学させて頂いた、音楽室ではミャンマーの伝統音楽ではなく、エレキギターやドラムで音楽を奏でていた。別の教室では、卒業生盲人のための占い指導講座を開いていた。来年もまた来ますよと、約束をして別れた。

梅農園でミャンマー料理

ピンウーリンはイギリス植民地時代の避暑地、戦争中は日本軍が作戦本部を置いた、日本的に言えば軽井沢と言える地方だ。

NPO法人神戸ミャンマー皆好会は、農民支援を目的として150本の梅林を開いている。ここで現地の人たちと梅の木に施肥を行なった。そして梅林でミャンマー料理をご馳走になった。今年は100kg程の梅の収穫が予想されている。これらが梅干や梅酒に加工され販売されて、農民の生活が少しでも豊かになればと思う。

日本語学校学生との交流

ヤンゴンではティン ミャンマールランゲージセンター、ここはKSCで3年間ミャンマー問題の講義を担当したティンエイエイコ女史が校長をしている日本語学校だ。マンダレーにはマンダレー外大日本語科がある、私たちはそれぞれの学生たちと食事会を持ち交流を行なった。近い将来日本とミャンマーの架け橋になって活動して頂きたいと思う。

日本人墓地と慰霊碑の参拝

大東亜戦争のビルマ戦線で18万の兵士が戦病餓死した。ヤンゴンの日本人墓地のほか、当時の激戦地各地に慰霊碑がある。旅行に際し日本人墓地と各地の慰霊碑に花を手向けにお参りをした。

ミャンマーの世界的遺産を観光

福祉旅行は観光地も精力的に回った。ヤンゴンの金色に輝くシュエダゴンパゴダ、国立博物館。仏教の聖地バガン、イラワジ河クルーズ、リゾートホテルでの連泊。マンダレーの王宮、マンダレーヒルからの夕日の眺め、野外レストランでのマリオネットショウ。バゴーの55mの寢釈迦様、精霊信仰のポツパ山など観光を満喫させて頂いた。今後も国際部会で福祉旅行を続けたいと思います。

小さな善意

孤児院、盲学校、僧立無料学校、農民の農民たち、TMLCとマンダレー外大日本語科に僅かながら寄付金を贈呈させて頂いた。小さな善意がそれぞれで役立って頂ければと願っています。